

とちぎ 学生防災サークル 支援事業



令和元（2019）年度とちぎ学生防災サークル支援事業
『活動報告会&認定証交付式』（R2.2.26）

栃木県県民生活部消防防災課
（公財）栃木県消防協会
令和2（2020）年3月発行

帝京大学 防災ボランティアERSU



代 表：青柳 遥

顧 問：丹羽 孝仁 講師

発 足：平成23(2011)年 4 月

部員数：35人

令和元（2019）年度の主な取り組み



「宇都宮市中央防災訓練」

宇都宮市中央小学校で実施され、ERSUは、災害時に身の周りにあるものでご飯を炊く「空き缶ご飯の実演」を行いました。

「宇都宮市総合防災訓練」

宇都宮大学峰キャンパスで開催され、初期消火訓練、炊き出し、バケツリレーに参加しました。

「被災地ボランティア」

東日本台風における被災地である宇都宮市大谷町周辺にて、がれき撤去、被災者自宅の片づけ手伝いを行いました。



「東北遠征」

毎年、3月11日に、宮城県南三陸・気仙沼周辺にて、被災地ボランティア、見学等に参加しています。（今年度は中止）

応援コメント

皆さんが ERSU の中で、自らに何ができるのかを考え行動する姿は、まさに帝京大学の「自分流」を体現していると言えます。これからも継続して活動していけるよう、ともに学び、支え合いながら、自分たちの力を伸ばしていただきたいと思います。

帝京大学講師 丹羽 孝仁

作新学院大学 学生消防団



団 長：松田 さりか
顧 問：牧 裕 夫 教授
相談役：杉山 俊幸
発 足：平成30（2018）年6月
部員数：11名

令和元（2019）年度の主な取り組み



「宇都宮市総合防災訓練」

自分の身を守る訓練、初期消火訓練、震災救出・障害物除去連携訓練の3つの訓練に参加しました。

「清原地区総合防災訓練」

大学が所在する清原地区の総合防災訓練は作新学院大学において実施され、学生消防団は、土のう袋作り訓練、煙体験訓練、救命訓練に参加しました。



「学内活動」

大学内では、避難器具使用による避難訓練と、消火器使用による消火実技訓練を行った「学内合同消防訓練」を実施したり、「作新祭」での防災ガイドチラシの作成・配布や、東日本台風の義援金募金活動を行いました。

応援コメント

災害はいつ起きるか分からないもの、防災を特別なものと考えず日常的生活の一部と考えることが必要で、みなさんの知識と活動が災害において多くの命を救うことにも繋がります。学内及び地域において、みなさんの活動により一人でも多くの人に防災の大切さが伝わり、災害に強い町づくりに貢献できるよう応援いたします。

作新学院大学事務局 杉山 俊幸(防災士)

白鷗大学 め組白鷗



代 表：望月 美鈴

発 足：令和元(2019)年 7 月

部員数： 7 名

令和元（2019）年度の主な取り組み



「小山市総合防災訓練」

防災訓練を実際に見学し、行政、消防団、地域住民の方々の小山市を守るための取り組みや、災害救助犬や防災ヘリの活躍を見学しました。

「東日本台風白鷗大学復旧作業」

東日本台風の影響で大行寺キャンパスの多くの建物が床上浸水の被害を受けました。学生みんなで力を合わせて復旧作業を行いました。



「防災についての勉強会」

小山市消防本部のご協力のもと、防災サークルとして基本となる「防災とは何か」を学ぶため勉強会を実施しました。

応援コメント

普段の生活において、『防災』というものは、どちらかという忘れがちになりやすいかと思いますが、め組白鷗の学生の皆さんの普段からの活動が『防災』の意識づけに繋がっていると思います。これからも、学内外を問わず、広く活躍をしてください。応援しています。

GO！め組白鷗。

白鷗大学学生課 岡野 功

とちぎ学生防災サークル支援事業とは

県では、消防・防災に関する学生サークルの活動が充実したものとなるよう、関係機関との連絡調整や資機材の提供などの支援を実施しています。

地域防災に関心を持つ若者が増えることによって、地域防災の要である消防団や自主防災組織などの充実強化を目指しています。



とちぎ学生防災サークルDAME-iT とは

栃木県内の大学等において、消防・防災に関する活動を継続的に実施している学生サークルが集まって、お互いの活動内容についての情報交換や合同での活動の実施など、サークル活動のより一層の充実に向けて取り組んでいます。

愛称“DAME-iT”は、Disaster Action MEmber-in Tochigi の略で、決めたことは実行する！という強い意志の表れでもあります。



【DAME-iT 連絡協議会会長からのコメント】

白鷗大学 め組白鷗 望月 美鈴

私たちDAME-iTは、3大学のサークルが集まって、サークル活動についての情報交換などを行っています。

め組白鷗は、去年の夏に立ち上げたばかりのサークルです。各大学の活動報告や意見はとても参考になるものばかりで、連絡協議会に出席する度に刺激を受けています。

各大学と力を合わせ、決めたことは実行し地域防災の支えとなれるように、全力で一つ一つのことに取り組んでいきたいと思っています。

「あなたの想いが、街を守るエネルギーになる」

消防団員を募集しています!!

消防団員は、それぞれ自分の仕事を持ちながら地域防災の担い手として、地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を持っています。また、近年は、女性や学生の消防団員が増加していて、火災予防や応急手当の普及啓発などにおいても活躍しています。

私も団員になれますか？

市町ごとに規定がありますが、一般的には、その市町に居住又は勤務している、18歳以上の方ならどなたでも入団できます。団員各自の能力に応じて役割が分担され、男女問わず幅広い世代の方が活躍しています。

災害時にはどんな活動がありますか？

火災が起きた際、消防職員と協力して消火活動や近隣住民の安全確保、周辺の交通整理などを行います。また、風水害時には、河川などの警戒や土のう積み、避難の呼びかけなど、様々な災害対応を行います。

待遇などはどうなっていますか？

市町村から数万円程度の年額報酬や出勤手当（概ね1回数千円程度）などが支給されます。また、一定期間以上勤務して退団した際の退職報奨金支給、被服の貸与、公務災害補償などがあります。

平常時にはどんな活動がありますか？

いざというときのために、消火・救助活動などの訓練を行うほか、AEDの使い方などを学び、応急手当の指導をしたり、小学校などでの避難訓練のお手伝い、火災予防や防災知識の広報など様々な活動を行います。



全国女性消防操法大会で活躍する真岡市女性消防団



消防団の活動は、地域に貢献できるやりがいがあるものです。また、活動を通じて幅広い年代の人たちと交流でき、自分自身の成長にもつながります。「地域の役に立ちたい、何かしてみたい」という方は、消防団への入団を考えてみてはいかがでしょうか。

【お問い合わせ】

○とちぎ学生防災サークル支援事業について

栃木県県民生活部消防防災課
TEL 028-623-2127 FAX 2146
(公財)栃木県消防協会
TEL 028-666-5381

○消防団について

お住まいの市役所・町役場
または、消防署まで